●11月はロータリー財団月間です。
室蘭北ロータリークラブ
会報 むろらんだけ 室蘭岳
Rotary
2023～2024年度　国際ロータリーテーマ
CREATE HOPE in the WORLD
「世界に希望を生み出そう」
世界に希望を生み出そう　2023～2024年度 RI会長　ゴードン R. マッキナリー

2023年11月7日(火)　第2442回　例会

第2510地区　日本 (DISTRICT 2510 JAPAN)　●会長：藤井　徹也　●幹事：岸田　理　●編集：クラブ会報委員会

本日のプログラム

卓話「例会の大切さ」

2014―2015年度パストガバナー
羽部　大仁 様 (札幌幌南RC)
プログラム委員会

和食ランチ (鱈みぞれあん、小鉢、香の物、炊き込みご飯、お椀、甘味)

※例会終了後、定例理事会を開催致します。

次回の予定プログラム

夜間例会　18：30～
卓話「日々の奉仕活動」

登別ロータリークラブ
会長　若木　康夫 様
プログラム委員会

洋食 (ビーフカレー、コーンスープ、サラダ、デザート)

ニコニコBOX

松浦光紀ガバナー・鈴木高士ガバナー補佐・石川稔副代表幹事 (ガバナー公式訪問にあたり)
本間信 (出席率100%をいただき)
藤井徹也 (松浦ガバナーご来蘭ありがとうございます)
岸田理 (ガバナー公式訪問例会たくさんのご出席ありがとうございます)
川本康裕 (松浦ガバナー公式訪問ありがとうございます)
宮本一章 (SAAとして食事中も立ってきました)

前回までの例会の報告

第2441回 (10月31日) 例会記録

本日のゲスト

国際ロータリー第2510地区
ガバナー　松浦光紀 様 (小樽南RC)
ガバナー補佐　鈴木高士 様 (登　別RC)
副代表幹事　石川　稔 様 (小樽南RC)
ガバナー補佐幹事　守屋　聡 様 (登　別RC)
米山記念奨学生
アニス・ジャズワニ・キスティナ・ビンティ・ヒシャム 様

[会長報告]

1．地区大会にて下記の会員が表彰されました。
記念品を贈呈致します。
【永年出席100%会員表彰】
10年　本間　信 会員

出席報告

会員数	49名	出席者数	27名
出席免除者数	0名	欠席者数	22名
出席義務者数	49名	出席率	55.10%

●例会場　アパホテル室蘭　●例会日　毎週火曜日　12：30　P.M.
●事務所　室蘭市中島町2丁目28-6（アパホテル室蘭）
●電　話　0143-45-6569　●ＦＡＸ　0143-50-6578
●URL http://murokita-rc.org/　●E-mail mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp

前回例会のプログラム

会長・幹事懇談会　10：30
※出席義務者　会長・会長エレクト・幹事

第3回クラブ協議会　11：30
ガバナー公式訪問　12：30

令和5年10月31日（火）松浦光紀2510地区ガバナー・鈴木高士第9グループガバナー補佐・石川稔地区副代表幹事・守屋聡第9グループガバナー補佐にご出席いただき、今年度のガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち会長幹事懇談会が行われ、藤井会長から当クラブの特徴や活動状況の説明があり、これを受けてガバナーより、ご自身が大切にされている課題や、2510地区内に限らず最近のロータリークラブが抱えている諸問題についてのお話をいただいた。また引き続き第3回クラブ協議会が行われ、各委員会からの活動報告に対して講評がありました。その後例会が開催され、セレモニーの後に松浦がバナーより卓話があり、ロータリアンになるまでの歩みや活動に関する思いについて語っていただいたことであります。

例会卓話と会長幹事懇談会での共通する内容のまとめとして、DEI(DIVERSITY・EQUITY・INCLUSION)に関して世界的に関心が持たれており、実現の難しさの一因に多様性や平等性ということが若年層と壮年層とで考え方にギャップが存在すること。また多様性の分野において女性会員の増強が求められていおり、日本の現代社会では女性の立場は向上しているが、一方で女性管理職は少ないというジェンダーギャップが存在している。しかしながら職種によっては、起業を含めて女性の進出率は上がっており、女性会員増強を考える上で「新しい職業」の模索も必要となってくることと共に「活躍できる場づくり」もまた求められている。そして新規会員の入会についても、既存のルールに縛られるのではなく、フレキシブルな対応が求められていることなどが語られました。また会長幹事会においては50周年記念事業で行なっている知利別川での美化活動についても評価をいただき、公共イメージ向上の大切さということで低地の看板とSNSなどのメディアの併用を例に挙げ、ロータリークラブの社会的ポジションが上がるほど興味・関心が多くなるのではとお話をいただきました。

時代環境や社会環境の変化に応じて、当クラブもどのように対応していかなければならないか、考えるきっかけをいただいたことであります。

第3回クラブ協議会　議事録

日時：2023年10月31日（火）11：30～
場所：アパホテル室蘭　3階
出席者：松浦光紀ガバナー・鈴木高士ガバナー補佐
石川稔副代表幹事・守屋聡ガバナー補佐幹事
藤井徹也・岸田　理・小野寺浩二・西野義人
宮本一章・猪俣英二・菅原正明・太田義則
川原陽一・宮本秀樹・田中健太・廣瀬　禎
本間寛菜・斉藤　崇・本間　信・川本康裕
斉藤　聡（文責）

○会長挨拶（藤井徹也）
本年度の各委員会の活動計画を簡潔にわかりやすく発表してガバナーにご評価いただきたい。
○ガバナー紹介（鈴木高士ガバナー補佐）
○ガバナー挨拶（松浦光紀）
先日の地区大会に多数のご参加を感謝いたします。平均年齢がとても若く驚いています。
これから発言される各委員長さんは、ゆっくりと丁寧に発表していただきたい。

【協議会（各委員会の活動計画について）】

○SAA（宮本一章）
SAAは偉いんだという思いを胸に今年1年例会の運営を努めたい
○会員増強委員会（猪俣英二）
前委員長からの引継ぎで会員候補が5名ほどおり、引き続き勧誘したい
○クラブ広報委員会（菅原正明）
例会内容や奉仕活動をFace Book を通じて内外に発信します
若い会員が多いことからロータリーの意識を高める卓話や炉辺談話を開催します
○クラブ管理運営委員会・プログラム委員会（太田義則）
今年度は例会数を4回増やし、また若い会員のために親睦を兼ねた夜間例会も増やします
そして女性の卓話機会を増やしたい
○出席委員会（川原陽一）
例会はロータリー活動の原点あり、出席率を上げるための活動に努めたい
夜間例会を増やしたり、席順の工夫等、策を講じていきたい
長期欠席者に対しては、会長・幹事やベテラン会員のお力をお借りして対応したい
○親睦委員会（宮本秀樹）
親睦委員会として会員の皆様へ例会を楽しんでもらえるよう、様々な企画を計画し何とか出席率の向上につなげたい
○クラブ会報委員会（田中健太）
入会3年未満ですが、諸先輩方のお力をお借りし職務を全うしております
例会のみならずそれ以外の行事や奉仕活動を積極的に記事にし、会報を通じて例会等への参加を促せるような紙面作りをしたい
○奉仕プロジェクト委員会（廣瀬禎）
・職業奉仕委員会
職業奉仕とはロータリーの金看板といわれ難しく考えられているが、机上の理論ではなく実践であるということを理解していただくフォーラムや卓話を開催したい
・社会奉仕委員会
他団体と協働、連携し積極的な支援や参加を実行する基本方針のもとに、交通安全啓蒙活動やフードドライブ活動の応援を実施している
・国際奉仕委員会
ポリオプラス募金は年間一人＄30を目標に活動
2月27日に国際奉仕に関するフォーラムを実施予定
コロナ禍で中止していた室蘭工業大学留学生との室蘭岳登山の復活
国際奉仕地区補助金に水問題で補助金を申請予定
・青少年奉仕委員会（本間寛菜）
今期活動してきた内容は、蘭東少年野球同好会への支援をはじめ旭ヶ丘小学校への「室蘭北RC文庫」への書籍贈呈や地区補助金を活用し「きらん」へ子供用図書カート等の贈呈を行った。また室蘭北ローターアクトクラブと積極的に交流しその活動の支援として、先日室蘭イタンキ浜の清掃活動をロータリアンと共に行いました
○ロータリー財団・米山記念奨学会委員会（斉藤崇）
基本方針をもとに一人当たり年間100＄以上の寄付をお願いし、ロータリー財団への理解を深めるため来月の財団月間に卓話を開催する。また「ポリオプラス活動」を強力に推進し、例会と夜間例会等で多大な募金の協力をお願いする
先月の米山月間に当クラブの奨学生　アニスさんに「マレーシアと日本」と題し、また米山奨学会・学友会の入井委員長からは「米山記念奨学事業と危機管理」の卓話を開催し、会員の皆様に奨学事業の理解を深めていただいた
○50周年継続事業委員会（本間信）
当クラブの50周年を記念してはじまった事業ですが、広く市民の皆様に親しんでいただけるような継続事業にしていきたい

【ガバナー講評】
非常に長い時間のご発表頂きありがとうございました。これは奉仕活動を積極的に行っている証です。ありがとうございました。その中でもSAAは大変なお仕事です。その働き次第で例会が締まったものになりますのでよろしくお願いいたします。会員増強委員会には多様性の観点からぜひ女性会員の勧誘に努めていただきたい。公共イメージの向上という点でSNSでの発信は欠かせないので広報委員会は引き続きよろしくお願いいたします。会報委員長の田中さんは入会3年目ですが、他クラブでは3年目で会長に就任された方もいらっしゃるので、遠慮せずに頑張って下さい。職業奉仕委員会は活動計画の中にロータリーの目的を掲げて活動されていることはとても重要です。「相手に対し思いやりの心をもって接し、そのように行動すること」このような方向性をもって行動される必要がある。米山奨学委員会には今年度新たに子世話クラブ制度を創設しましたので、ご検討ください。